

第 32 軍司令部壕保存・公開に向けた提言(たたき台)

【検討委員会の役割】(第 32 軍司令部壕保存・公開検討委員会設置要綱第 2 条)

検討委員会は、沖縄戦において第 32 軍司令部壕が果たした役割等の歴史的価値を次世代に継承するため、壕の保存・公開の可能性及び平和発信・継承のあり方等について、調査及び検討を行い、意見を取りまとめ知事へ提言する。

【第 32 軍司令部壕について】

- 沖縄戦の軍事的中枢施設であった第 32 軍司令部壕は、沖縄戦の方向性を決定づける判断がなされた重要な場所であり、沖縄戦の実相と教訓を伝える歴史的遺産である。
- 戦後 77 年余が過ぎ、戦争を知らない世代が大半を占めるなど悲惨な沖縄戦の記憶が薄れていく中で、沖縄戦の実相と教訓を次世代へ正しく継承し、平和を推進することが重要である。
- 令和 2 年度に設置された「第 32 軍司令部壕保存・公開検討委員会においては、この間、32 軍壕の保存・公開の可能性や平和発信のあり方等について、議論を交わしてきたところである。
- 今般、以下のとおり、県が実施している詳細調査結果を踏まえた保存・公開の可能性、平和発信・継承のあり方等に対する意見を取りまとめ、知事へ提言書を提出する。

【提言の項目(たたき台)】(これまでの委員のご意見及び平成 9 年の基本計画を参考に作成)

第 1 章 基本理念

- 1 保存・公開の背景
- 2 保存・公開の意義
- 3 保存・公開の必要性

第 2 章 保存・公開の可能性

- 1 保存・公開の可能性
- 2 戦跡文化財としての位置づけ
- 3 保存・公開のあり方

第 3 章 平和発信・継承のあり方

- 1 文献資料等を活用した平和発信・継承
 - (1) 調査研究事業
 - (2) 平和教育・学習への利活用
- 2 平和教育・学習への利活用
 - (1) 展示活動
 - (2) 平和交流事業
- 3 広報・PR 活動

第 4 章 段階的な整備・公開

- 1 壕内の安全確保
- 2 戦争遺跡としての保全
- 3 段階的整備
- 4 段階的公開と活用
- 5 今後の課題
 - (1) 詳細調査について
 - (2) 整備方針について